

平成21年4月30日

教職員及び学生の皆さんへ

理事（教育・学術担当）近藤 學
保健管理センター所長 山本孝吉

豚インフルエンザの人における流行について 第3報

豚インフルエンザ（A/H1N1）の人への感染は、メキシコ、米国、カナダに加え、英国、スペイン、ドイツ、イスラエル、ニュージーランド、オーストリアでも確認され、拡大が続いています。そこで、WHOは4月29日、このインフルエンザが世界的流行（パンデミック）発生が近いとして、発生危険度をフェーズ5に引き上げました。この中で、ウイルスが世界中に拡大しつつあり、近い将来、各国で発病者が見つかる可能性が高く、各国が感染者の増加を防ぐために出来るだけの努力をするようにとしています。

メキシコでは感染した一部の症例で肺炎を併発し、死亡例も少なからず報告されています。メキシコ以外では重症化は少ないようですが、その毒性などに関しては、今後の推移を注意深く見守る必要があります。罹患者、重症者が若年層に多いとも言われています。また今年の秋以降にあらためて流行する可能性も指摘されています。

日本で生活している場合は、通常の予防措置を続けます。栄養を十分に摂り、睡眠を十分にとることが基本になります。石鹸を用いる手洗いとうがいは重要です。感染を防ぐために、咳やくしゃみをしている人から距離をおく（人込みを避ける）ことは非常に大切です。マスクは咳やくしゃみをする人が装着することに意味がありますが、人込みで至近距離から放たれた飛沫をブロックする効果もあります。ブタインフルエンザ用のワクチンはなく、通常のインフルエンザのワクチンはブタインフルエンザには有効ではないと考えられています。治療薬のタミフルやリレンザは有効とされています。高熱が出たら、まず安静です。

メキシコへの渡航については再度その是非を検討するよう、米国への渡航については現地の状況に応じて渡航を考慮するよう、厚労省、外務省から要請がなされています。メキシコ、米国以外への海外旅行に行かれる場合でも、出発前には厚生労働省、外務省の感染症情報を必ず確認してください。

発生国から入国する場合は、発熱、咳、咽頭痛などの症状が全くないことを確認すると共に、検疫に協力し（症状があれば必ず空港で申告する）、入国後10日間は自宅で待機して発症しないことを確かめることが望まれます。万一帰国（入国）後に症状が出現した場合には、最寄りの保健所（発熱相談センター）に電話をかけ、受診方法の指導を受けてそれに従ってください。その際、なるべく公共

交通機関を利用しないで、自家用車などで移動してください。

状況は日々変化しますので、新型インフルエンザ（豚インフルエンザの人における流行）に関する情報については下記のリンクも御参照ください。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

外務省 海外安全 <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

文部科学省・文部科学省における新型インフルエンザ対策について

http://www.mext.go.jp/a_menu/influtaisaku/

滋賀県 新型インフルエンザに関する情報

<http://www.pref.shiga.jp/e/kenko-t/butainfluenza.html>

WHO <http://www.who.int/csr/don/en/>

2009年4月27日 WHO <豚インフルエンザについての Q&A>

<http://www.who.int/csr/disease/swineflu/faq/en/index.html>

4月27日付の WHO から出された豚インフルエンザに関する Q&A の要約です。

1. 豚インフルエンザ (Swine influenza)とは？

豚の間では容易に感染する A 型インフルエンザで、死亡率は 1-4%である。豚の咳やくしゃみで伝播し、通年流行の可能性があるが特に秋や冬に流行しやすい。多くの国では豚にインフルエンザワクチンを接種している。

普通、豚インフルエンザウイルスの型は H1N1 であるが、H1N2、H3N1、H3N2 などもある。豚は鳥インフルエンザや人の季節性インフルエンザ（普通のインフルエンザ）にもかかり、時には一時に複数のインフルエンザウイルスに感染することがあり、これが遺伝子再集合の機会を提供する。豚インフルエンザウイルスは、通常、豚にのみ感染するが、遺伝子再集合により、人に感染するようになることもある。

2. 人の健康への影響は？

これまでに人に感染し流行したこともある。一般的には通常の季節性インフルエンザと似た症状であるが、無症状例から致死性肺炎例までさまざまである。

3. 人の感染はこれまでにどこで起こったか？

2007 年以降、WHO が把握しているのは米国とスペインでの感染例である。

4. 人はどのように感染するのか？

通常は感染した豚に接触することによる。しかし、豚に接触していない者からの発生もあるので人一人感染も考えられる。しかしいずれも濃厚接触の場合であると考えられる。

5. 豚肉とその加工食品は安全か？

適切に処理された豚肉や豚肉製品から感染することはない。豚インフルエンザウイルスは 70°C で死滅する。

6. 過去にどこかの国で豚インフルエンザの大流行があったか？

北米、南米、ヨーロッパ、アフリカ、東アジアの各地で流行があった。

7. パンデミックになる危険性は？

現時点ではほとんどの人は豚インフルエンザウイルスに対する抗体をもっていない。豚インフルエンザウイルスが、人一人感染を起こすように変異した場合には、パンデミックになる可能性がある。そして、ウイルスの毒性、人々の免疫能、季節性インフルエンザ感染により獲得した抗体による交差免疫の有無が鍵を握る。

8. 人のための豚インフルエンザワクチンはあるか？

現在人に拡大しつつある豚インフルエンザウイルスを含む人用のワクチンはない。現行の季節性インフルエンザワクチンが交差免疫をもたらす可能性は明らかではない。インフルエンザウイルスは非常に速く変異を来す。最大の防御免疫を得るには、現在流行しているウイルス株によるワクチンを接種することである。そのために WHO は最も適切なウイルスを選択するために、できるだけ多くのウイルスにアクセスする必要がある。

9. 治療薬はあるか？

インフルエンザ治療薬にはアマンタジンとノイラミニダーゼ阻害剤のオセルタミビル（日本ではタミフル）・ザナミビル（日本ではリレンザ）がある。米国でのブタインフ

ルエンザにオセルタミビルとザナミビルは効いたが、アマンタジンには効かなかったという。

現在のところ、豚インフルエンザの治療・予防に関する薬剤の使用について推奨するには情報が十分とはいえない。米国カリフォルニアとメキシコにおけるブタインフルエンザの流行において、現地当局はオセルタミビルかザナミビルでの治療を勧奨している。

10. 豚と定期的に接触する場合にどうしたらいいか？（略）

11. 豚インフルエンザ感染者からの感染を防ぐには？

過去においては、豚インフルエンザの人への感染は一般に軽症であったが、肺炎など重篤になる場合もあった。しかし現在の米国およびメキシコでの流行については、その臨床像が異なっている。米国の確認例には重症者はなく、無治療で回復している。メキシコでは一部の患者は重篤である。

インフルエンザに対する一般的な防御策を実行する。

- ・ 病気の人、発熱と咳のある人との濃厚な接触を避ける
- ・ 頻回に、完全に石鹸と流水で手を洗う
- ・ 十分な睡眠、栄養をとる

家庭に病人がいる場合には、

- ・ 隔絶した場所を用意する。無理な場合には、1メートル以上離れる。
- ・ 看病には、フェイスボのマスクで口と鼻を覆う。
- ・ 看護をした後には、そのたびに、完全に手を洗う。
- ・ 病人がいる場所の換気をおこなう。
- ・ 環境を清潔に保つ。

豚インフルエンザが人に感染をおこしている国に居住している場合には、国や地方自治体の保健部局のアドバイスに従う。

12. 豚インフルエンザに罹患したと思ったら、

もし、具合が悪く、高熱と咳あるいは咽頭痛があれば、

- ・ 在宅し、仕事、学校、人込みからできるだけ遠ざかる。
- ・ 安静にし、水分を十分とる。
- ・ 咳やくしゃみをする際には、使い捨てティッシュで口と鼻を覆い、使い捨てティッシュ適切に処分する。
- ・ 石鹸と水で頻回かつ完全に、特に咳やくしゃみの後に、手を洗う。
- ・ 家族や友人に病気であることを知らせ、買い物などのように他の人と接することが必要な家事に援助を依頼する。

医療が必要な場合には、

- ・ 面会に行く前に医師や医療者に連絡をとり、症状を伝える。豚インフルエンザだと考える理由（人で流行している国に最近旅行したなど）を説明する。彼らの助言に従う。
- ・ 前もって医療者に連絡が取れない場合には、医療機関に到着した時、最初に、豚インフルエンザの可能性を疑っている旨を伝える。
- ・ 移動中も口と鼻を覆っておく。

（注意：日本国内では、地域の保健所などに発熱相談センターが設置されます。そこに連絡を取りましょう。）